

未滿ニ於ケル結核性感染ハ、治療ヲ必要トスル疾患ト同一ノモノテハナイト決定サレタ。

尙著者ハビルケー氏反應陽性ノ小兒ニ於テ、心室洗滌液中ノ結核菌發現ノ臨牀的竝ニ流行病學的意義ヲ説明シタ。

即コノ小兒ハ總テビルケー反應陽性デアリ、而モコノ検査ハ何等診斷的價値ノナイモノデアル。尙又著者ハコノ方法ニヨル個々ノ結核菌陽性所見ノ流行病學的意義ノ主張ト明カニ異リ、特ニコノ實驗ヲ行ツ

タ小兒科醫ハ誇大ナコトヲ云ツタモノデアルト云フコトヲ示シタ。

著者ハ結核豫防ハ古クカラ知ラレテキル基礎ニ依ツテ進メナケレバナラヌコトヲ希望シテキル。

傳染性成人肺結核症患者ノ治療竝ニ隔離ヲシナケレバナラヌ。

而シテ途ニハ小兒ノ結核豫防ニ於テハ、臨牀家が支配者デアツテ、研究室研究者ハ其從僕デアラネバナライ。  
(黒丸抄)

## 會報並雜報

### ○十月中入會者

守 家 本 良 愛 媛 縣 松 山 市 二 番 町  
新 田 左 内 臺 灣 基 隆 市 日 新 町 臺 北 海 港 務 部

檢 疫 課 内

### ○會員ノ訃

下記會員ノ訃報ニ接ス謹シテ弔意ヲ表ス。

山 口 茂

### ○本會評議員小林義雄君ノ訃

11月11日死去セラル、謹ミテ弔意ヲ表ス。同氏ハ本學會評議員ニシテ結核病學ニ關スル研究業績ヲ多數

發表セラレ又第9回本學會總會ニ於テハ宿題報告ヲ擔當セラル、等學會ニ貢獻セラル、處歎カラザリキ。

### ○カルメット氏ノ訃

バスター研究所副所長ニシテ B. C. G ヲ以テ有名ナル同氏ハ10月29日死去セラル、本學會ハ直チニ

弔電ヲ發シテ弔意ヲ表セリ。

### ○第十一卷第九號、木村圭一、論文正誤

誤	880 頁	32 行	4) Ziehl <u>集合顆粒</u> 好染ノ小突起ヲ有スル
正			4) Ziehl 好染ノ小突起ヲ有スル
誤	882 頁	11 行	Jáli
正			Gáli
誤	882 頁終リヨリ	16 行	陰性 5.8%
正			陰性 25.8%